

## ■ 温室効果ガス削減の目標

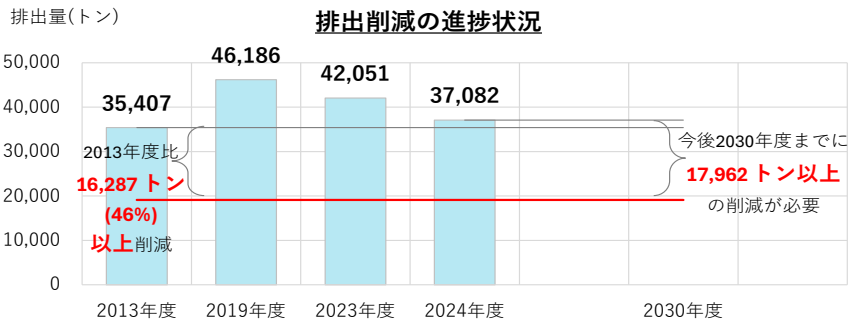
	削減目標 (政府目標値)
2030年度	2013年度比 46% (16,287トン) 以上
2050年度	カーボンニュートラル

## ■ 温室効果ガス排出量の推移

那覇空港の2024年度の温室効果ガス排出量は、2023年度比4,969トン減少の37,082トンである。  
2030年度の削減目標 (2013年度比46%以上の削減) の達成には、今後17,962トンの削減が必要である。

	温室効果ガス排出量(トン)			
	2013年度	2019年度	2023年度	2024年度
空港施設	31,848	42,308	38,505	33,479
空港車両	3,559	3,878	3,546	3,603
計	<b>35,407</b>	<b>46,186</b>	<b>42,051</b>	<b>37,082</b>

※小数点以下の端数処理により合計値が整合しないことがある



主に契約されている電力会社の排出係数…2019年度：0.769、2023年度：0.680、2024年度：0.644  
空港全体の商用電力使用量(kWh) …2019年度：5,501.7万、2023年度：5,576.1万、2024年度：5,194.7万

## ■ 2020年度～2024年度の温室効果ガス排出量の増減背景

那覇空港では、2020～2024年度にかけて、第2滑走路供用 (2019年度) やターミナルビルの増改築 (2020年度) などの施設整備が行われ、空港の利用 (航空機運航回数や旅客数) はコロナ前の水準を上回って増加しているが、商用電力使用量の減少、主に契約されている電力会社の排出係数の低下などを背景として温室効果ガス排出量は減少しており、基準年(2013年度)の排出量の規模に近づいている。

## ■ 2020年度～2024年度の脱炭素化施策の取組状況

空港施設に係る取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 建築施設照明のLED化、建築施設の熱負荷低減、空調の高効率熱源の導入、空調・換気の省エネルギー運用等の取組が行われた。</li> <li>➢ 航空灯火のLED化の取組が行われた。</li> </ul>
空港車両に係る取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 電動車の導入、バイオ燃料の活用、EV充電用の太陽光パネルの設置が行われた。</li> </ul>
再エネ導入促進に係る取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 太陽光発電設備の導入が行われた。</li> </ul>
その他の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 駐機中航空機のAPU使用時間の制限が導入された。</li> </ul>